

2023年度 認定こども園教育・保育要録に基づく 施設関係者評価【まとめシート】

<自己評価> 及び <公開保育>

| | | |
|-------------------------|-------|---------------|
| 所属 [学校名、機関名、法人・園名等] | 園長名 | 作成日 |
| 社会福祉法人照治福祉会 清水認定こども園 | 前田 敦子 | 2024年1月26日(金) |

評価の記録

| | |
|--|-----|
| | 評価者 |
|--|-----|

| | |
|-----|---|
| 良い点 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価のどの項目についても点数は高く、職員のモチベーションが高いと考えられること。また、課題も認識しており、解決していこうとする姿勢が感じられる。 ・子どもが素直に思ったことを言えたり、逆に言いたくない、言えないことも認められ、発言しなくても自分の居場所があり、安心できること。いきなりテーマに行くのではなくその日の気分を聞くなど進行に工夫がみられる。 ・保育者の肯定的な言葉かけが印象的で素敵である。 ・中学校として参考になる取り組みで、今の中学生はコロナの時期から話す機会が減ってしまった。今回のように場面、雰囲気を設定することで自分の思いをなさせるのだと感じた。 ・保育者が自然体で受け止めることで、子どもも自分が大切にされていると安心感を持っていることが感じ取られた。これは日頃から大切にされているからこそ感じられるものだった。今日の活動の中から、表現する力、考える力、聴く力など色々な要素が含まれていた。保育を積み重ねていく中でそのベースがあることが素晴らしい。 ・ランチルームは食事の場所、にじの部屋は昼寝の場所、各お部屋は遊びの場など、分かりやすく行動化されている。大人って信じられる、世の中の人は否定しないという社会的な信頼を持てるようになってほしい。 ・就学後は、結論を求める話合いが多くなると思うので、このような取り組みが大切である。今回の姿は、友だちや大人との信頼関係があってこそのことだと思う。 |
|-----|---|

| | |
|-----|--|
| 改善点 | <p>特に改善点はないが、色々な新しい取り組みを行うことで、職員の負担は増えると考えられるので、その点についての配慮なども同時に検討していく必要がある。</p> |
|-----|--|

| | |
|---------|---|
| 更に期待する点 | <p>今後も様々な運営を継続し、現状に満足するのではなく、ステップアップを期待する。また、今後も子どもたちがさらに自己肯定感を持てるようにしてほしい。</p> |
|---------|---|

| | |
|--------|--|
| 評価を受けて | <p>自己評価では、特に子どもに対する実践的な部分に対して特に高い評価が出ていると感じるが、職員同士の共有する部分に捉え方の違いや認識不足が見られ、すれ違いを感じることもある。仕事量などにより職員自身の負担が増えていることで、心の余裕が持てない姿も見られる。大人の都合で子どもの動きを考えるのではなく、子どもにとってどのような動線が良いのか、どのような対応が良いのか、様々な視点から、職員も心が疲弊しないよう、また職員も自分の思いが素直に出せる職場であるよう考えていきたい。子どもたちの育ちのための経験を大切にしながらも、職員の働き方改革を実践し、子どもも大人も安心して過ごせる場作りを心掛けていきたい。</p> |
|--------|--|